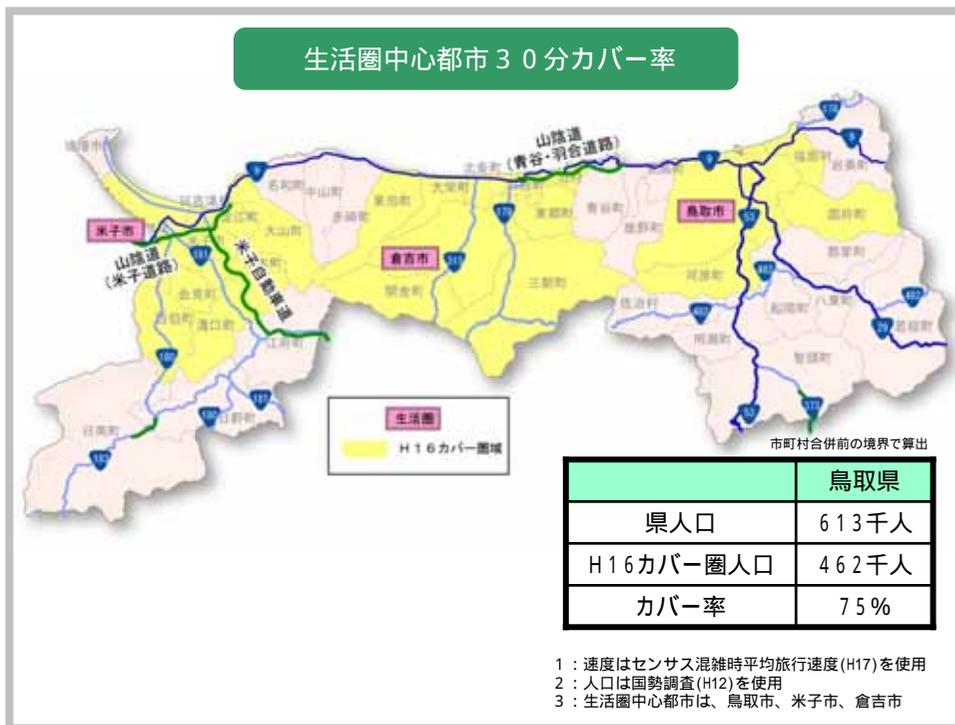


# 住民生活をもっと豊かにする

## 生活圏中心都市30分カバー率

### 1 鳥取県の現状

鳥取県における生活圏の中心都市は、鳥取市、米子市、倉吉市の3都市です。これらの都市いずれかに30分以内に到達できる人口割合は75%（平成16年度値）です。



### 2 昨年度の成果（達成度報告）

平成17年度は、名和・淀江道路、駈馳山バイパスなどの事業について整備を推進しました。このうち、青谷・羽合道路アクセス部、生山道路が供用しましたが、既にカバー圏に含まれていたことや、生活圏中心都市を結ぶ主要道路のネットワークに接続しないため、生活圏中心都市30分カバー率の値は変わりませんでした。ただし、生活圏中心都市までのアクセス時間が短縮されました。

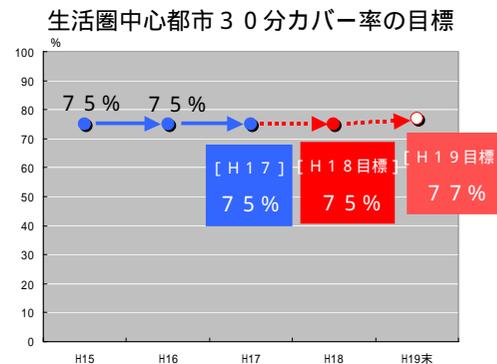
### 3 本年度のとりくみ（業績計画）

平成18年度は北条倉吉道路が供用予定ですが、既に北条町等はカバー圏内に入っているため、カバー率の値は変化しません。ただし、北条～倉吉間の所要時間が短縮されます。

「TOPICS 北条倉吉道路」P.32参照

また生活圏中心都市30分カバー率の向上が期待できる他の事業箇所も、早期供用を目指して整備を推進します。

各事業の進捗状況はP.6～7参照



H18年度完了事業箇所の一覧表

主体	路線名及び事業名	完了予定年月	期待される効果	備考
鳥取県	北条倉吉道路	H19.3	生活圏中心都市への時間短縮	P32参照

# TOPICS ~北条倉吉道路開通で倉吉市がより近くに~

・北条倉吉道路は、鳥取県中部と岡山県北部の地域連携を促進する北条湯原道路の一部を担う道路であり、産業の活性化や住民の利便性向上が期待されています。  
 ・当道路の利用により、国道9号(北条バイパス)方面から、倉吉市までの所要時間が短縮します。



## 4 平成19年度目標達成に向けた展望

生活圏中心都市30分カバー率の平成19年度目標値は77%であり、山陰道(名和・淀江道路)・北条倉吉道路の整備により平成18年度から2%の増加を目指します。



山陰道(名和・淀江道路)の概要は「整備事例」P.13を参照

生活圏中心都市30分カバー率が向上すると移動時間が短縮し、買い物等に行きやすくなるなど、地方に住む人の生活がより豊かになると考えられます。



- 1: 速度はセンサス混雑時平均旅行速度(H17)を使用
- 2: 名和・淀江道路は70km/hを使用